

C-CAT のデータベースを用いた MET exon14 skipping 変異を有する切除不能な進行再発非小細胞肺癌における初回治療と臨床アウトカムの関連を評価する後方視的観察研究

大阪国際がんセンター呼吸器内科では、がん遺伝子プロファイリングを行った患者さんを対象に、非小細胞肺癌と診断され MET exon14skipping 変異を有する症例において患者背景や治療内容と臨床アウトカムとの関連などを評価する研究を実施しています。実施にあたり大阪国際がんセンター倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長より適切な研究であると承認されています。

研究の目的

がん遺伝子プロファイリングを行った患者さんを対象に、そのデータが蓄積されている C-CAT データベースを活用して、非小細胞肺癌と診断され MET exon14 skipping 変異を有する症例で患者背景や治療内容と臨床アウトカムなどを評価することを目的としています。今後の MET exon14skpping 陽性非小細胞肺癌の治療の発展に繋がることが期待されます。

研究の方法

対象となる方：手術ができない局所進行期あるいは進行期、もしくは手術後あるいは化学放射線療法後に再発された非小細胞肺癌の患者さんのうち、2019 年 6 月以降にがん遺伝子プロファイリング検査を行い MET exon14skipping 変異を認めた患者さんを対象としています。

研究期間：総長の研究実施許可日から 2031 年 3 月 31 日まで

具体的な方法：MET exon14skipping 変異陽性非小細胞肺癌でがん遺伝子プロファイリング検査を行った方を対象に C-CAT のデータベースを用いて検査提出時の年齢や治療内容、検出された遺伝子変異を調査します。

研究に用いる試料・情報について：情報（治療歴、検出された病的遺伝子変異 等）

個人情報の取り扱いについて：この研究で得られた情報は個人情報管理者（大阪国際がんセンター 呼吸器内科 副部長 國政啓）の責任の下、厳重な管理を行います。

試料・情報の保存および二次利用について：C-CAT データから抽出した情報は原則としてこの研究のために使用し研究終了後は、情報は発表後 5 年間保存させていただいた後、廃棄します。またその間、新た

な研究への再利用について、大阪国際がんセンター倫理審査委員会においてその可否が審査されます。

研究組織

研究代表者：

大阪国際がんセンター 呼吸器内科 副部長 國政 啓

研究担当者：

大阪国際がんセンター 呼吸器内科 福本 洋介

お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、当院担当者(連絡先は下記に記載)までお申出ください（ただし、既に解析・公表が完了している場合は除外できないことがあります）。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。その場合の、お問い合わせは研究開始後から2028年3月31日まで対応いたします。

研究担当者：福本 洋介 （大阪国際がんセンター 呼吸器内科）

〒540-0008 大阪市中央区大手前3丁目1-69

TEL：06-6945-1181 FAX：06-6945-1900

受付時間：月～金、9～17時（祝日および12月29日～1月4日を除く）